



- null -

週末はいまひとつ
抜け殻のエントロピー

なぜかキミを抱きながら孕む醜態

瞳の宇宙に宿る影と
ふたりは朽ちて舞い堕ちるシンクロナイズド

冷たいシーツにくるまれて
根柢は酩酊に

囚われの意識に飲み込まれたら
キミの笑顔が歪んで見えた。

窓辺の薔薇も
色彩はやがて抜け落ちて乖離して
遠く永いスローモーション

僕らは魚群
流れのままに

純正は剥がれ落ち
メッキで塗りたくる

日々 耳障りのいい言葉に慣らされて
うわべだけ、ただ甘い蜜だけ飲み干したい。

針穴を通るラクダは言う
容易いコトだと

溶けたい？
解けない？
壊れたい？

例えばキミが僕を求めなくても

僕がキミを求めなくても

すり抜けるうわ言で
また猜疑心、心揺らぐたび波紋は広がる

24Hフルタイム支配的
使いこなせない不自由な幻

さよなら
おやすみ
逸れてしまう

僕らはプログラム
光のダンス

未知は無知のまま滞る想定内
口を噤んで夜が逃げる頃泳ぐエネミー

思考は行動を食いつぶし、
明日という白い世界に攫われる。

わだかまりを残して
僕だけを残して

追う事は失う事
肯定は否定へ

過去 現在 未来
どこか繋がらないコンフュージョン

かすむ愛
狂えるまで引きずる足で

まだ三度目の正直を見てみたい・・・？

—Somewhat☆—

あまのじゃくへそまがり

僕たち

私たちは

忽ち包囲されて行き詰まる非常事態

二者択一迫られたら

リアルタイム、手にした真実と壊れた曖昧

溢れ出すドキドキ感覚

彼氏と彼女は・春うらら

胸の鼓動止められなくて

震える予感 感じるままに

それは想定外で容量ゼロ

誰かに遠慮 何かと中庸

もう守れないかも？ 僕だけが見てる永遠

うとましさと両耳削ぎ落としても

深層は表層を超えて

いつか生まれてしまう愛の音。

か細くもせつなくて・・・

腑に落ちないまま

理性は失われつつあるけれど

今あるのは無我夢中

僕たち

私たちは

行き場のないミュートな未知数。

カオスの海で

繋がり求めてはもがく影？

運命のガイダンスに導かれ、

酸いも甘いも噛み分けたい。

箱詰めHope

いっそこの身を投げてでも

ここから先はキミとじゃなきゃ

飲み干して秘密の話打ち明けたら
どこまでも朽ちていく気もしてた。

愛のアンセム 想像以上期待以上に愛くるしくて
けど負のバランス否めない

不確かなlife..なぜかどこか影虚ろ

熱・くらら
彼氏と彼女はDropout!

上手く言えなくて・未熟なVoice
頑なに擦り切れたまま

アイデンティティ持て余す
もどかしさで立ちくらむ

気持ち寄り添う度平常心引き裂いた。

迷いながら交わる体温、シュールなままに
夢の続きは溺れながら溶けてくみたい

Stay gold・・・ゆるく甘くいつか収束を願うけど
まさに日々はエンドレス

だってもおキミのいない世界には戻れない
More more・・・心が呼んでる真夜中のコール

Something wrong・・・やりきれなくてねじ曲げたくて

極限值でFreak out!

ねえ、僕たちはどこへ流れつく？

微妙なレイジー

Day to day . . .

やみくもにフロウ それなりにピース

Doubt it . . . まだ許されたいモラトリアム迷走中

I can't ride the wave.

先の事は考えてるつもり

けどやっぱ 今を優先

僕はボクの別の顔を探し続けるけど、

ラウドな鼓動 Fake the keep

確信はbehind、気が付けばミクロな世界

そこから手も足も溶け出したNight sky

沈むディストレーション、世界がdeepに感染中

不自由なNo track, No space、

這い回る果てで醒めない夢はマジDope.

否めない愛想笑い 掴めないNeed

Everyone is tired, Everyone is tired (みんながうんざりしてるx2)

忘却のTwilight、

通り過ぎるグラフィティー 色褪せるLife

寄せ集めたword敷き詰めても storyにはならない ぼやき つぶやき

Inspiration、未知への世界 手に取るように感じたい

Here in the shadow (この影で)、

足りないのは愛、すなわちdraw

多感な局面、

Shake it out ! (それを振り出して)
Highlight there. ! (そこにハイライト)

Don't end it ! (終わらせないで)
星々が瞬き続けるように、

夢中でありたい 夢中になれない
正直でありたいと願う 溢れんばかりのMy voice.

クズの極み? Do some freestyle. (フリースタイルしよう)
ミッション握るも この手の中に

何も出来ないけど
約束すらできないけど

I feel so,
I gotta feeling (僕は予感する)

誰にもわからなくていい
誰も 振り向かなくても 答えはなくとも

すべては変わるよ

今に分かるよ . . .

- Continuation -

限られたスペース
ねじ曲げたい曖昧

くすんだ音色が
日々を染める

タイトな事情、思うように楽しみたい
けど 上手く絡めない裏目

Look upon、わけもなく消えたいメンタル
大抵の事は矛盾抱えてる現状

時に妥協も必要
その片隅で見る甘い夢

たまにちょっとしたワンダー拾い集めてLucky day?

明日にはまた別の感情、What comes next?
でも捨てきれないMy love

冷たい秒針が胸を打つ この部屋で

薄れゆく輪郭、残響
その前に早く・・・Hold me

その度にFeedback、
なぜか全てが空回り

幾通りの幸せ 選ぶのは自由
でも 本音はひとつ

ただキミさえ居ればいい
ありがとうもごめんねもいらないから

帰りたい 帰れない
解ってよ 本当は

Deeper feelings than you (キミより深い気持ち)
伝わらない・・・でもわかりあえない倦怠感

煩惱、翻弄、その狭間でBlowin' in the Wind
複雑なtraffic、その中にあるのかも別々の道

ルーズでいい Fill me in
What do I need truth? 未だ遊びが優先

to the utmost、思うより簡単じゃない
ボクが僕を抜け出せるまでは

I wanna know、縮まらない距離間
いつまでも続くコントロール/コリレーション

きっと どこまでも気の遠くなるロスタイム
避けて通れない壁 今ここを超えられたら . . .

- Missing -

君のいない街は虚ろ
死と再生 行き交うローテーション

この場所で 負を抱える者は
ゲームを知らない

ルールを退き、愛に溺れる者のみ
秘密はあからさまになるだろう

混純とリアリティー
光と影を通して 今 消えるMy mind

白痴の夢
また 君の手を繋げなくて

僕らは容易く研ぎ澄まされてしまったね

何処へ行くの? . . . Far way
さざ波にさらわれて

Can I get over me? . . . こじれた風邪は 咳き込んだまま

あれ以来 今もずっと

すり抜ける形はあるようでないもの
誰もが 去る背景を気にも留めず

透明な孤独は 晒されて 見慣れてく

届かないよ すべて幻になるまでは

探さないで 今はまだ
モノクロームの約束が痛いから

隠しきれないバイブレーション

弱さを嘔みしめて
満たされたフレーズ書き足しても

どこか なぜか空々しいね
後ろ髪引かれる進行形

I wish for eternity . . . 青き 儂さは 美しいままで

たすけて タスケテ . . . I don't wanna know

未来を受け入れるには
ほんの少しの 勇気が足りないだけ

たったひとつ 聞きたい事
ずっと聞けなくて

いつかきっと ほどけていくよね
あの言葉の意味が キミの優しさが

解りたい？ わかりたくない？
Call Me, Hold you ・ ・ 今すぐに

火照る感触が
ただ ぎゅっと、

胸の奥 しめつけるよ ・ ・

- Not yet -

Bye-bye
ごめんね、

切り放した空 と 隔離した夢

白紙の Age
白紙の キャンパス

パステル 手に
思いのまま 描いた世界

ただ 真っ直ぐに
信じてた 見つめてた あの頃

ねえ、
コワレタ ノハ ナゼ？

取り巻く環境 すべて
意味深 不審

無邪気な笑い声 途切れてく
向かい風で 途切れてく

こんなものだろう？
そんなはずじゃない？

傾いて 遠退いて
その狭間で

きっと そう。

どこか 違うって
行ったり 来たり

何を 想う？
遮られた声

いつだって
理屈で塞いで 都合で解釈

予め 用意された 言葉全部
空々しくて しらじらしくて

探し物すら なんなのか 分からずに
目をそらしてた 高い空

響き合う事も
僕らは 忘れてしまったけど

タイトな 上塗りで
明日は 降り注ぐね

Detached heart ...

Detached head ...

ありふれて 有り余る
プリズムの その先は？

From night to survive
切り抜ける 夜から

Replace the morning
差し替える 朝へ

If you can fly again
もう一度 飛べるなら

僕らは 目覚めを知らない
まだ 知らない

うつむくだけで
何を 待つの？

こんなにも 続きのない物語

今日も 通常任務 こなしてる
筋書き通り こなしてる

だって そうだろう ?
やっぱ 嘘だろう ?

臆病 いくじなし
こじらせたら

ねえ、
イタイ ノハ ナゼ ?

- No Track -

In the Dry

めくるPage

刺殺 絞殺 撲殺

脱線上のデフォルメlife

腑に落ちないコト進行形

ここはどこ？

さあね、深く狭い峠

やっば それが現在地？

そろそろ抱えきれないプレッシャー

あらら酸欠状態 まあ 限界感じてる

壊れたディレイ

I fucked up!・・・逆境に逆らわば

Don't be cruel,・・・ここだけの話

今すぐにMove out

もうここにはいられない

できるものならGet back

けどそんなもんじゃない

知ってるよ。

追えば去る 逃げれば追われる そんなルール

って、あとどのくらいの条件満たすまで？

もう～皮かぶり指しゃぶりじゃしょーもないって、
じゃあ猫かぶりで許してよ？

ゆるめ ぬるめ加減がちょうどいい

いつまでたっても子供のままでいたって
ほら、呼んでるよFool in me.

空気読んでばっかでだったらどうなの？

シュールな展開期待しても
まさか？ありえないパンチライン

そろそろうんざりだけど、
拉致あかないって

意味を追求する事の意味のなさ
あ～それな。

まあ 割り切れない頭ん中フル回転でもして
なえるけどそれもアリって

冴えないルーチン捨て去ってさ、
素直に肌で感じ取ろうよ

ヒビ割れた日々、
光の中から追い出されても その駆け引きNCNR

罅まれたレイアウトでも
そう、狙うならOut put

そこに中身なんてないから
足元ばかりに囚われがちはナンセンス

起きてもない事、
今から考える癖やめようよ？

道のだ真ん中を Dopey*loopy
もっと気楽にあゆめばいいんじゃない？

すべてがまわりものなら、
うまく描けるよ この先きっと

"Note that run ..."

泣きを見る前に
気付かなきゃ

メジャーよりマイナー
My life & My style

声の届く方へ
少しでも近づけば

I think so,
きっと 思うより悪くない

- *Cross fade* -

とある拘束のレール上

どことなく離人感
なんとなく疎外感

救いあげたかったよ
ずっと

宙に浮いてる
ぼやけた自分

気が付けばいつものまにか

聞き分けがいいだけの
ちっぽけで つまらない大人になっていたなんて、

ぼくは一体
どこで見間違いを??

嘘っぼく塗り替えてみた
安っぼく固めてみた

限りなく透明な色彩で
スタンダードを沿う

誰もがそれを疑わない

配列の片隅で 並列に繋がれたふがいなさ

心の声を求めてしまえば

たちまちミュートな密度に
飲まれてしまうね

滲んだ重なり
拾い集めては

壊れた感傷
閉ざしていくよ

それでも空はいつも気まぐれで

流れる自由をながめてる
ただぼんやりながめてる

くるしいの
やめたいの

理由なんてないけど

誰か ！
だれか ！

- *Untouched* · *snow* -

恐れてた
心のどこかで

ずっと、
あなたを失うって ...

言い出せなくて
溢れてしまう ... "I love you"

求めてしまえば
壊れてしまう ... "I keep me"

進めないのは、
繋げないのは、

このまま きっと "Kill me mind"

形に出来ない恋もあるもの
だから 優しく優しく覆い隠すの

まだあどけない夢見ていたいから

諦めとは違う幸福

あなたの安堵に滑り込むの

とりとめのない杞憂

解けない夢中

ここから帰れない

どこへ溺れたのだろうか？

あなたの中に私はいるの？

いいの、

いちどだけお願い聞いてね

ただ抱きしめさせて

包み込むようにね、

側からそっと、、、

脈から脈へ

痛みから痛みへ

あなたの全部を

受け止めるから

Please floating down to the innermost

最内へ舞い降りて

Beloved message

最愛のメッセージ

ふわり ふわり

息を潜めて

気が付けば
降りだしてしまったこの雪と同じね

- *Bear in mind* -

いつのまにか

これだけは譲れない気持ち
大声で言えなくなってたね

押し込んだ引き出しの数も
クローゼットの場所さえも

今となっては見つからないわ

不器用な face each other . . .

あーでもないこーでもないの一人歩きで
いつもなんだかややこしい。

鏡の向こうの
素直じゃないアシメトリー、

どうしようもなく
駆け出してしまったその日から

揺れるアンビバレンス
晴れ時々落胆の影

なぜかしら？
いつもの自分に戻れない。

だけど 友達未満でいいなんて

弱虫の言い訳

もう 聞きたくないから、

逃げも隠れも出来ない想い

募って

実って

どうぞ お願い

儼かに

清らかに

今はただ

ひっそりと咲いていたい

あなたの傍で咲きたいの

いつの日か

夢の続きをあなたと見たい

小さな種子で運んでほしいの

誰の目にも留まらない場所で

秘密をそっと打ち明けるように

馬鹿みたいにね

泣けちゃうくらいにね

-漂う闇はHeavy

変わり映えのない風景だね
ありふれた経緯、相変わらずの

長いkissは張り詰めて、
あの日割り切る視線に弾かれた

Rougeで媚びたら
Periodを交わすの？

爪痕を残したら
Surreに喘えぐよ？

豹変は不変を追い越してゆくけど、

君を想う夜は
どうしようもなくひとりきり

ねえ、気の利いたメロディー聞かせてよ

いつかこの息苦しさを
切り抜けられる？

いつかこのもどかしさに
逆らえるかな？

届かないね

触れ合った
重ね合った
響き合った
許し合えた

今はもう . . .

Ah...痛みだけが浮かびあがるノイズの闇で、
君の香りが消えてゆくよ・・・ネオンの中へ

Wind expose blow to the heart
"心に風が吹きさらす"

bitterよりbetterを願うよ

From inside to outside
"内側から外側へ"

I want to be shrewd to sway
"したたかに揺れていたい"

ねえ、教えてよ
歩き方を

安らぎよ

連れてって
繋ぎ合せへ・・・

-微睡む月はRuby

煩わしい構図だね
滞る意図、脈絡はなく

絡む行為は凍てついて、
あの日遮る口調が震わせた

Rougeで惑わせたなら
過去形で区切らすの？

傷跡に悶えたら
Realへ翻すの？

異端は憧憬を飲み込んでいくけど、

影をなぞる日々は
どうしようもなくひとりきり

ねえ、甘美な声でなだめてよ

いつかこの遣り切れなさを
立ち退けられる？

いつかこのもどかしさを
超えらえるかな？

届かないね

手繰り合った
確かめ合った
求め合った
信じ合えた

今はただ . . .

Ah...記憶だけが浮かびあがる翻弄の渦で、
君の輪郭が散らばってゆくよ . . . 星屑と共に

Wind expose blow to the heart

"心に風が吹きさらす"

bitterよりbetterを願うよ

From inside to outside

"内側から外側へ"

I want to be shrewd to sway

"したたかに揺れていたい"

ねえ、教えてよ
進み方を

永遠よ

導いて
約束の地へ

- Reason -

今日は記念日
何回目かの

週末のラッシュアワー
足取りは重く

いつもの場所で
いつもとは違う

雑踏を刻む
スローモーション

あなたの口から
聞きかせてほしいの

ほんとうは。

未練はいらない
約束もいらない

平気じゃない

平気なんかじゃない

分かってた
ずっと 前から

軽い同調
浮ついた視線

どことなく なんとなく

どうして? なんて
あなたは知らない

それなのに
あなたの胸に逃げてしまう優柔不断

ずるいのは
怖いから?

不憫だね
愚問だね

曇らせたなら いびつな愛
確かめないで これ以上

繋ぎとめるもの
もう 何もないわ。

殺風景だね
そんなのは

それなりに演じてた幸福
気が付けば 迷いに変ってた

ごめんねは いつも私の方から
だけど 二度と 振り返らない

突き放すの こんなにも 頑なに震える唇で

今度は 私の方から
らしくない call . . .

- Helplessness -

うつむく 冬
目を閉じれば思うの、 時々

何を 差し置いても
正気を失っても

きみじゃなきゃ ダメなんだって。
なのに、いつも気持ちは晴れなくて

痛切に 抱く夢は 悲しいって、
待つだけは イヤなのに

回りくどく 迷い惑わされ 巡り巡っても
抜け出せやしないんだ

飲み込んだ涙の数も
交わした愛の深ささえ

どこへもいけないまま 君を想う空に消えるんだ

もしも それが
犠牲だというのなら？
エゴだというのなら？

もしも 求めるものが
ただの過ちと言うのなら . . .

どうしようもなく 傷は深まるばかりだね。

言葉を重ねるたび 光を失い 遠ざかる
私達は、これ以上は . . . そんな気がするの。

私達は ほどけない 逃げきれない

くやしいけどごめんね
くしゃくしゃでごめんね。

届かなくて
戻れなくて
追いつけなくて

大丈夫、まだ信じあえるよね？ とか

凍えるような祈りさえ
すでもう 翳り始めているのかな？

だから きみの背中見送るって決めたんだ。
でも ほんとの答え まだ見付らなくて

こんなのは違う
強がりには 嫌い

An inverted affection
逆さまの愛

Crisis is like the safety of reverse
危機は安全の逆のようだ

It's always in an uncertain shape
それはいつだって不確かな形の中で

No conductance . . .
People In The Box ,
Slit the whole town . . .

滑り落ちてく
全身の力が 抜けてゆく

溶け出して 分離したら、
やがて ゆっくりと 沈んでいくから

優しく頬に触れたら
ねえ、そっと伝えて . . .

小さな嘘 舞い降りた

闇へ 闇へ
底へ 底へ . . .

- Next page -

微睡の午後 窓際はWetに揺れて

逸れた呼吸が 重なる時
言葉巧みに委ねれば

縋れながら踊るように
手繰りながら失うように

静寂の中 ただ 深く青い海が欲しい

その狂気は 僕自身のカケラ
弾ける気泡で露わになれ

あの感覚も この感動も
偶然じゃないから

来る日も またくる日も
触れたくて 溺れたくて もどかしいよ

ねじられても 塞がれても
キミじゃなきゃダメなのに

キミといるとダメになる

熱しやすく冷めやすい 水中を駆け巡る不連続と
キミの虚言に クラクラするよ

どこにも属さない 値しない
光と影が交差する 障害を隔てたガラクタのスペース

解らないのなら 早く解き明かして
その先が見えないグレイな視線

ただ ただ 未来は激しくて
ただ ただ 雨は冷たくて

キモチは形にならないまま
不意なkissで逃がしてる

僕らは 季節に向かう為
急ぎすぎてしまったけど

この空虚に命を吹き込まれたのなら
僕らは 別のカタチの愛を知るだろう

それは決して満ち足りたものでもないけれど
僕はそれを信じて疑わない

擦り切れたハーモニー

Next page、きっと 聞こえる

耳を澄ませば

まだ少し あどけなさを残して . . .

- 徘徊 waltz -

重なる 嘘 嘘 嘘

退屈な世間の裏事情

最後の恋だった

二度と元には戻れないなら

まがい物は土に返して

あなたの為に壊れてあげる

私の全部

鏡の中で焦がれて裂いた

目からウロコのサイレントメモリー

深夜0時 後退のメロディー

メランコリックに徘徊中

ヘーキ 世界は絶え間なく狂ってる

沈んでゆけばいい

底なしの深さへと

だって 愛し方なんてわかんない

愛され方なんてわかんない

あなたの瞳の奥に映る別のヒト
背中合わせのモノローグ

あなたには見えていたの？
ガラス越しの景色は灰色で

あなたにはもう届かない
逃げも隠れも出来ないね

今 色鮮やかな思い出が
私の中で揺らめいた

切り刻んだ 否 否 否
なぜ？ この気持ちに答えは見つからないのね . . .

ちぐはぐ迷走 everything every-night

想いとカラクリは、
力任せに編み込まれて

プツリ途切れた赤い糸 . . . ほら、ソラは大声で泣き出しそうよ

イタイのイタイの飛んでゆけ
Bye-bye 大好きなひと

わるいのはいつも私
それでいいでしょ？

どおか 幸せに
大丈夫 とおに心は失くしてる

ねえ、未練はいらない
週末のエピローグは簡潔に

ヒト知レズ涙ヒトシズク

乱ルル如ク花ノ散ルラム

せめてこの先が見えなくなるまで見届けて . . .

- *Lost · gradation* -

眠るまで語り合おう

キミの長い髪 撫でていたい
出来るなら このままずっと

キミを救いたかったのは、

救われたかったから？
僕自身が救われなかったから？

僕らはきっと似た者同士

あの日 無力な僕らは 白昼夢に誘われて

斯う空へ叶わずに
ただ 淡い繋がり求めてた。

いつまで洗い流せばいい？
どこまで歩き続ければいい？

止まない問いかけに
僕らは同じ場所を迷い立ち尽くすけど

大丈夫、
夢の中の夢に落とされて

未だ けだるいデジャヴを見てるだけ

泣かないで 怯えないで

目の前を塞ぐのは 何？

閉ざしてしまうのは なぜ？

雨の予感 キミはしばらくうつむいて そっと呟いた
闇の中、ぼつりと浮かぶその言葉に、

認識だけが追いつけなくて

混迷は流れに連行されて

まだ しがみつく香りと沈殿物を残してく ----

傘をあげるよ

わけもなく 妥協と節度

らしくないかな？ ..でも ごめんね

僕がキミを追い詰めるなら

きみを苦しめるなら

キミの事

、救いたかったよ 誰よりも

追いかけたかったよ 本当は

例え 過ちが理不尽に繰り返されたとしても
見えないもの、無条件に信じていたかった。

けど 言えなかったよ

でも 出来なかったね

雨は上がるの？

キミが霞んでく 僕が消えていく

色褪せた世界で 時を縫い合わせても

やがて 色もなく 形もなく 意志も持たない 真空に押しつぶされて

Now my thoughts are inscribed

今 想いは刻まれる

Now it is going to be broken

今 それは壊れようとしている

I am trying to get through here

今 ここを通り抜けようとしている

気が遠くなるまで

キミが見えなくなるまで

僕らは 長いながい直線を 引いていく

キミの細い髪 撫でていたい

出来るなら このままずっと

くだらない夢 打ち明けながら

笑っていたい 朝までずっと

ねえ、暁が漂白されたなら

どうか もう一度 あの空へ

騒めきが収束されたなら

ためらわず あの四季へ

何も言わなくていいから

傷付かなくていいから

もう 何も

もう 誰も . . .

- *Evasion* -

消えたいって 思ってた
汚いって 許せなかった

動機は不純
まさぐる邪道

そこには どこか
ここには なぜか

ざわめきが 叩きつく
取りとめのなさ 絡みつく

私達は 砂漠
私達は 幻

渦巻いて 犇めいて
隘路の最中

そうだよな
いつだって ハッピーエンドじゃ終わらない

Cry Cry Cry

ただ キレイな終わりを キミと見たいよ

醜いって 思ってた
異端だって 解ってた

言葉は 矛盾

以前から なぜか

真実は どこか

キラキラが 照り付ける

無制限に 繋がれる

私達は 依存

私達は 排泄

重たさは いらない

その先は 不問

そうだよ

いつだって 駆け引きなんてしたくない

Hate Hate Hate

欺く 騙し絵

まだ ギリギリの夢を キミと見たいよ

終わらない影 Another sky,

今や 遠い目

いいの、愛想は尽きてる

生きるスピードは Heavyだね

おはようから おやすみまで

気が気じゃないわ

ドタバタ

ごった返す 内側の事情

あれれ

平常心 本当はどこまで？

理性が 崩れてく
左巻きの メロディー

再生 ゾンビ
ドキドキは まがい物で

こんなにも ギトギト 尽きない欲望

火に油を注いでも
燃え尽きやしないわ

No deal
対処しない

No more rules
もう 縛られない

悪魔のように 鮮明な挙動で

白く 冷たく
溶けてゆくだけ . . .

- Hysteric+rosy -

軽いノリしてないで
別に自分だけが特別なんて思っていないよ

なのにどうして私だけこんな気持ち？

イヤ嫌 ダメ駄目
知らせて 知らせないで？

喜劇かな？ 悲劇かも？

アイシテル以外は聞きたくないのよ。

困らせないで 悩ませないで 私だけを見て

気が付けばこんなにもあなたしか見えてない

こんな思い引き下がれないよ

だって今更どうするの？

本当はもっともっと独占したいの

性悪かな？

会えない日や 寂しい夜も

いつだって隣にいさせて

ふいにそっぽ向かれたって

どんな時だってかわいい女でいたいから

いつか 心の距離だけは対等でありたいと、

信じ合えたらいいのにね

けどどね、

わけもなくイライラさせるの 不安になるの

どんなに平気なフリしても、

恋しくて こんなにも日々募るの

せつなくておかしいくらい乱されるのは、

なんなのよ ねえ？

曖昧にしないで。

どうせ、誰にでも言える言葉だとか流してるから

なのにどうして胸の辺りがこんなにも痛い？

イヤ嫌 ダメ駄目

知らせて 知らせないで？

喜劇かな？ 悲劇かも？

アイシテル以外は 聞きたくないのよ
困らせないで 悩ませないで 私だけを見て

気が付けばくやしいくらいにあなたしか見えてない
こんな思い引き下がれないよ
だって今更どうするの？

本当は他の誰よりも束縛されたいの
ワガママでしょ？

ケンカの後や嫉妬深い夜も
いつだって側にいさせて

時々よそ見なんてされちゃっても
最後には一番愛されてたいから

いつか 心の距離だけは対等でありたいと、
信じ合えたらいいのにね . . .

だけどね、訳もなくズキズキさせるの 臆病になるの

いくらかcoolに誤魔化したって、
いつの間にかこんなにも苦しいの

患って 壊れるくらい高鳴るのに、
分かってよ ねえ？

-Short · poem-

ハルシオンの夜

空っぽの朝

氷塊のアイソレーション

輻輳のサブリミナルは、
虚構のまどろみに翻弄され、

退屈をくだらない理屈で埋め尽くす

ラウドなブースで、
気の抜けたソーダ水は

あの夏の失恋
自墮落なロマンス

儚さ彩り 香るデジャヴは、

曇り硝子になぞる
wetなcall . . .

.....
二人の音響はdoppler effect

あなたの面影は眺める車窓を
いつまでも何処までも

追いつけてくる夜空の月でした。

あなたの列車は遠ざかり、私は呆然。
未練の尻尾を見送るだけ。

繰り返し訪れる朝に傷を晒され

散らばるガラス拾い集めては、
いつの日も怯えていたよ・・・

Before all fails・・・
全てが壊れる前に。

At least only now・・・
せめて今だけは。

A little more as it is・・・
もう少しだけこのままで。

それはただ 遠く淡く
まばゆいばかりのサイレントコール・・・

.....
軛のテトリス
雁字搦めのレイアウト

上手く泳げるか 泳げないか
日々試されるアクアリウムで

僕らはいつだって爆破装置を抱えて生きている。
ひたすら駆け上がるような 死を、摩耗を目指してゆく

統合されない 融合されない
累積される喪失感

ああ、宇宙の果てのmissing link . . .

.....

時折、運命の引き潮は
忽ち穏やかな光を撒収し始め、

線分の集合が一致した蓋然性は、
極小の点在地に差し掛かる

無限Reynoldsの海は、
剽悍過ぎて1人では泳げない

雑踏に埋もれて
レーゾンデートルが失われたとしても、

またキミを探してしまう。

潮流から逸脱して、
この地球上から振り落とされてしまったとしても、

どうか、もう一度私を見つけて欲しい . . .

.....

この街では欲求が全て。
熱望と妄想に取り憑かれた中毒患者達

癒せない 和らげられない冷却できない

疑問符と不協和音

今 圧力の下で、
それを拒否してはならないと学習している

求める事を忘れてしまえば、
この降りしきる雪の中

誰にも探されずに埋もれてゆくだろう

.....
愛はセルロイド
陰謀はミステリー
欲望はアルカロイド

蠱惑な攪乱、
淫乱なピッキングで、

爪を立てて忍び寄る
戦慄のシミュラークル

非道の囁きは
獣の美德？

ああ、ボクは畸形なfigure

あなたが歪めば
痛みは流れ出す、
哀艶のパラフィリア

never . . .
anywhere . . .
anyone . . .

全力の愛は

届かない・満たされない・埋められない！

目の前の疑いが晴れるまで、
ああ、嘘と真実のdissolution . . .

.....

焼き尽くす真夏の太陽
甘い罨

絡まる指先は滑り落ちる美しい暴力。

弾む鼓動
短命なりズムで

それはまるで封じ込まれた死者達の叫び。
楽園という名の処刑台

溺れてしまえば
咲かない腐乱

乱して 壊して

ここではない何処かへ逃れようと、
遥か遠いrising sunを待っていた。

夢から覚めてもまだ夢であって欲しいと、
僅かなI初キ-をこの地に託して . . .

凍て付く切望、
遣る瀬無い嘆きの忘却の空へ . . .

.....

待ちわびるレスポンス
同調するプロトコル
因果が摩擦するファンクション

くらいそら
くらいうみ
くらいまち

ああ、夜な夜な窓際のメランコリー
せめて抱きしめて募らせてミルフィーユ

瀬戸際のコンフュージョン、
それならビターに酔わせて・香らせて

赤裸々なフラストレーション、
諦めないで、こんなにもマジカル・ミラクル・トロピカル

”Curiosity killed the cat”
好奇心は猫を殺す

恋するnoesisと、
夢見るhyle。

ある日Qliphothの醜悪が、
囁いたCapgras

「ああ、信じていたのに・・・」
と、符号は暗転

満足出来ねば、
烏有に帰すると猫は泣く

.....

僕等は夢を売って嘘を買う。
この実体のないパラレルワールドで、

対象を洞察し、
中庸を装い、
自分を知り妥協へ帰納しては

細胞の変換を冪等し、
ひたすら不動点に沿ってゆく。

詰め込まれたジオラマの強制リテラル
バグをstroke進行中

僕らはただ 統計を造る為のくだらない産業者

流れる水脈は下水道へ繋がる
排水溝の底で見るといびつな夢

大切な言葉は形骸な概念として
echoになり、さざ波を立てては闇へ還る。

脳髓を穿つ苦悩、逡巡、怨念、本音 . . .

堅牢な宇宙の拘束から
離脱出来ずにいる僕等は、

そんな座標行程さえまだ
解らずにいた . . .

.....

呆然と愁然
ここではアドリアの効かない
シリアスなnonfiction

彼がくれたdoubtのカート

これ以上ない冷めた視線で
あのコが訝しげに笑う

無心で翳す手の平に零れ落ちる涙は
君の元へ叶わぬ確かな真実

手錠掛けの煉獄の延滞
狂った経路でピリトは打てない

シフトを黙せて
懇願のリズムで . . .

.....

逐次実行
条件分析

反乱すべき？
何もしない？

僕は外界に抗う
整合性と可用性はtrade・off

交差点の際で方角を失い、
信号が変わっても道を渡れず、

ただ、強風（例外状況）にあおられる僕は、
危うく踏みとどまるばかりだったんだ ー

.....

何が私達を行かせ続ける？
その全ては何を意味する？

私は溺れる為に海に向かうのですか？
かけた時間と共に全てが無駄になったわ！

私以外の全員はすでに到着しているらしい。
私以外の誰もあの計画に同意しなかったから、

だからここへ来ざるをえなかったのよ。

現在を引き止める事は不可能です。
それらに実体はありません。

ただこのゲームを愛し、そして気を悪くしないで下さい。

私達はただ役割を果たす為に
最大のものを探し続けるだけです。
それだけです。

だから全ての時間を笑わせて下さい

.....
私は速やかに必要な情報を集めています。
私は悉く必要な領域を計算しています。

触れえぬものは何マイルか遠方にあるもの、
掴めぬものは存在せぬもの、
数え切れぬものは真実でないもの、
計り知れぬものは重量のないものでしょう。

浮動小数点精度から逃れられませんか？

kludgeは悪いですか？

nothrowはいかがでしょう？

さあ、崩壊を管理しましょう。

あなたはこの事実をどう思いますか？

.....

愛撫が足りない

溺愛がいい。

暴力的だけど

救われる予感。

絶望を祈るような急下降なら、

今だけ永遠を信じられるかも？

過ちが繰り返されるものなら、

拒絶の涙は美しい。

ねじられた心

清く正しく縛られたなら、

それはほんの少しだけ

生き延びる手段。

リスクはスリル

全盲の無法地帯で、

確かに聞いた

共鳴の音。

.....
澱は沈み、
溝で眠る

キミの瞳の奥に瞬く銀河は
僕の視点とは交わらない

糞尿泥沼のsolution、
溶解するdissolutionは、
悪臭漂うanalysis.

噛み砕いて
飲み下すには、

リスカ/OD/AKK
拭い切れないparanoia . . .

"Fuck me over"
"Trust no one"
"Don't be Dotty !"

ズタズタにバラバラに粉々に
削がれても裂かれても砕かれても、

"It's not over yet ?"

それでも尚・天国のような見解を
信じていたいと ?

.....

また真夜中が訪れる
また孤独にうなされる

そして僕らは粉々になる

消化せず
同化せず

灰色は塞がれたまま 冷たく黙るよ
言葉は閉ざされたまま 悲しく煽るよ

絶え間なく嚙む病める重圧

犇めきが混ざり合い
生まれては死ぬ

無へ 闇へ
これ以上、 それ以下もなく ...
